



NPO PTPL “ともいき” 便り No. 207

令和4年（2022年）2月4日発行

■ 立春（りっしゅん） 令和4年2月4日から令和4年2月18日までの節気

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。第6波の感染者数が全国で急速に増えています。私の知人にも家族が感染して濃厚接触者になり、出勤できないという人が複数います。孫の小学校や中学校も学級閉鎖になっているクラスがあります。中学受験をする人は3学期は学校には行かず、家で勉強をしているそうです。運動不足にならないか、閉塞感におそわれないかと少し心配です。

季節は春へと動いています。二十四節気では2月4日（金）から18日（金）まで、「立春」の節気に入ります。暦の上では一年の始め、春の初めで、暖かくなり始めるころです。七十二候（二十四節気をさらに三つに分けた暦）も一候（春風が吹いて、氷が解けて魚が動き始めるころ）からまた始まります。

まだ寒いですが、「春」という文字が出てくると嬉しくなります。花屋さんにはスイトピーやチューリップが華やかに並んでいて、マスクをしても花の香りがわかります。近所のお庭の沈丁花にも、つぼみがたくさんついていました。そしてなんととっても、陽が長くなりました。まだ厚手のコートは手放せませんし、遠出もできませんが、ちいさな春を探しながらの近所散歩は、たのしいです。皆さまのご自宅の周りはいかがですか。ちいさな春、見つけてみてくださいね。

「立春」の節気にはさまざまな行事があります。例えば、2月8日の針供養。折れた針を供養し、裁縫の上達を願う行事です。江戸時代初期に始まったそうです。折れた針を集めて豆腐やこんにゃくに刺して、川に流したり、紙に包んで海に流したりしました。なぜ豆腐が使われるかということ、豆腐のように色白の美人になるようにとか、柔らかい気持ちになれるようにとか、**まめ**（豆にかける）に働くことが**大事**（大豆にかける）としたのだとか、定かではないそう

です。明治の中頃まで盛んに行われていましたが、今は洋裁学校など、洋・和裁関係者だけの行事となってしまったようです。そういえば、私自身も針仕事はとれたボタンをつけるぐらいです。小学校、中学校では、雑巾から始まって、ワンピースやパジャマまで縫ったというのに・・・。（参考「こよみ読み解き事典」岡田芳朗・阿久根末忠（編）柏書房）

2月5日から12日は「さっぽろ雪まつり」です。北海道最大の行事の一つで、冬の風物詩ともなっています。昭和25年から始まりました。けれども、今年も新型コロナウイルス感染拡大によりオンラインでの開催となります。

<https://www.snowfes.com/>

2月15日（火）は「横手かまくら」。子どもたちが水神に御供物をし、かまくらの中で餅を焼いたり甘酒を飲んだりして楽しく夜を過ごします。16日（水）は「秋田梵天祭り」。今回は感染状況にもよりますが、両日、工夫して開催する予定だそうです。

<https://www.yokotekamakura.com/2021/11/19/yukimaturi2022/>

「雪まつり」「かまくら」・・・「雪」といえば、東京でも12月に降りました。そんなに降らないだろうと思って普通の靴で出かけたら、帰りに転びました。幸い、両手に持っていた荷物がクッションになったため、そんなに腰を打たないですみましたが、立ち上がる時の恥ずかしいことと云ったら…。2月も降るかもしれません。長靴を履いて出かけようと思います。生まれて初めて雪を見た我が家の柴犬ぷく（8ヶ月）は、雪の上を大喜びで駆け回っていました。まさしく♪いーぬは よろこび、にわ、かけまわり♪状態です。

余談ですが、犬や猫、鳥などの柔らかい毛のことを大和言葉で「和」の「毛」と書いて、「にこげ」というのだそうです。大和言葉とは、太古の昔、私たちの先祖たちが作りだした日本独自の言葉のことです。「にこ」は「にこにこ、にこやか」の「にこ」。柔らかく穏やかな様子をあらわします。ぷくの毛も「和毛（にこげ）」。ふわふわの毛を撫でてみると、きもちが落ち着きます。2020年から新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、テレワークや休校休園が増えたせいか、ペットを買い始める人が多くなったそうです。皆さん、「にこげ」に癒されているのでしょうか。最後まで家族として大切に育ててほしいです。

「春」という漢字は、「三人」と「日」が組み合わさっているようにみえます。一人でも、二人でもなく、三人。あたたかな日に、仲良し三人が集まって楽しく遊んでいる様子が目に浮かびます。そんな「春」も、もうすぐそこです。

2月の満月は17日（木）です。おつきさま、見られるといいですね。

皆さま、ちいさな春の発見を楽しみながら、明るい気持ちで過ごしていきましょう。

すとうあさえ（NPOPTPL 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」日本人の感覚、ジャパネスク。

立春を迎えるにあたって

今年に入り日本列島は太平洋側では乾燥、日本海側は大雪、さらには北海道ではイワシが水温の異常低温による打ち上げられるなど異常気象に見舞われています。

世界的には年末いったん落ち着いたとみられた新型コロナウイルスもオミクロン株の急激な感染者の増加による社会経済不安の再燃、さらにはウクライや台湾を巡っての高まる緊張状態など今年が多難な年になりそうな状況を呈しています。混沌とした時代がまだまだ続く兆候なののでしょうか？

私も NPO 活動をはじめて今年で 22 年、このような世情になるとはあまり想像をしていませんでしたが、これはやはり私たち人間が先人の知恵と工夫から学ぶことをないがしろにしてきた結果、劣化によるものなののでしょうか？

今年は、私は提唱する「ともいき」「ともうみ」「ともさち」そして「和」のジャパネスクの考え方が日本人のみならず世界中の人々が真剣に考える最後の機会ではないか？と真剣に考えています。

皆さまはどう感じ、どう思われるのでしょうか？

日本 2022 ジャパネスク

「ともいき」、「ともうみ」、「ともさち」、そして「和」。
日本から世界へ、世界から日本へ。和魂世界才へ。

勝田 祥三（NPOPTPL 理事長）

■事務局便り

毎日寒い日が続きますが、いかがお過ごしですか？

厳しい寒さが続く中、今年も立春を迎え、これからは春の兆しが少しずつ感じられる時季になりました。

2月4日から冬のスポーツの祭典、北京オリンピック、3月4日から北京パラリンピックが開催されます。昨年の東京オリンピック・パラリンピック同様日本人選手が活躍し、日本が明るくなることを願います。

●日本というものを基盤において活動する NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」：<http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」：<http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」：<http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2022>

「タピラス」：<http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」：<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」ともいきチャンネル

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

「ともいきチャンネル」[ともいきチャンネル - YouTube](#)

●会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

■ 電話：03-6432-5911 F A X：03-6432-5912 Email：info@ptpl.or.jp